

潘寿君 主编

潘 蕾 副主编

日语助词与助动词用法解析



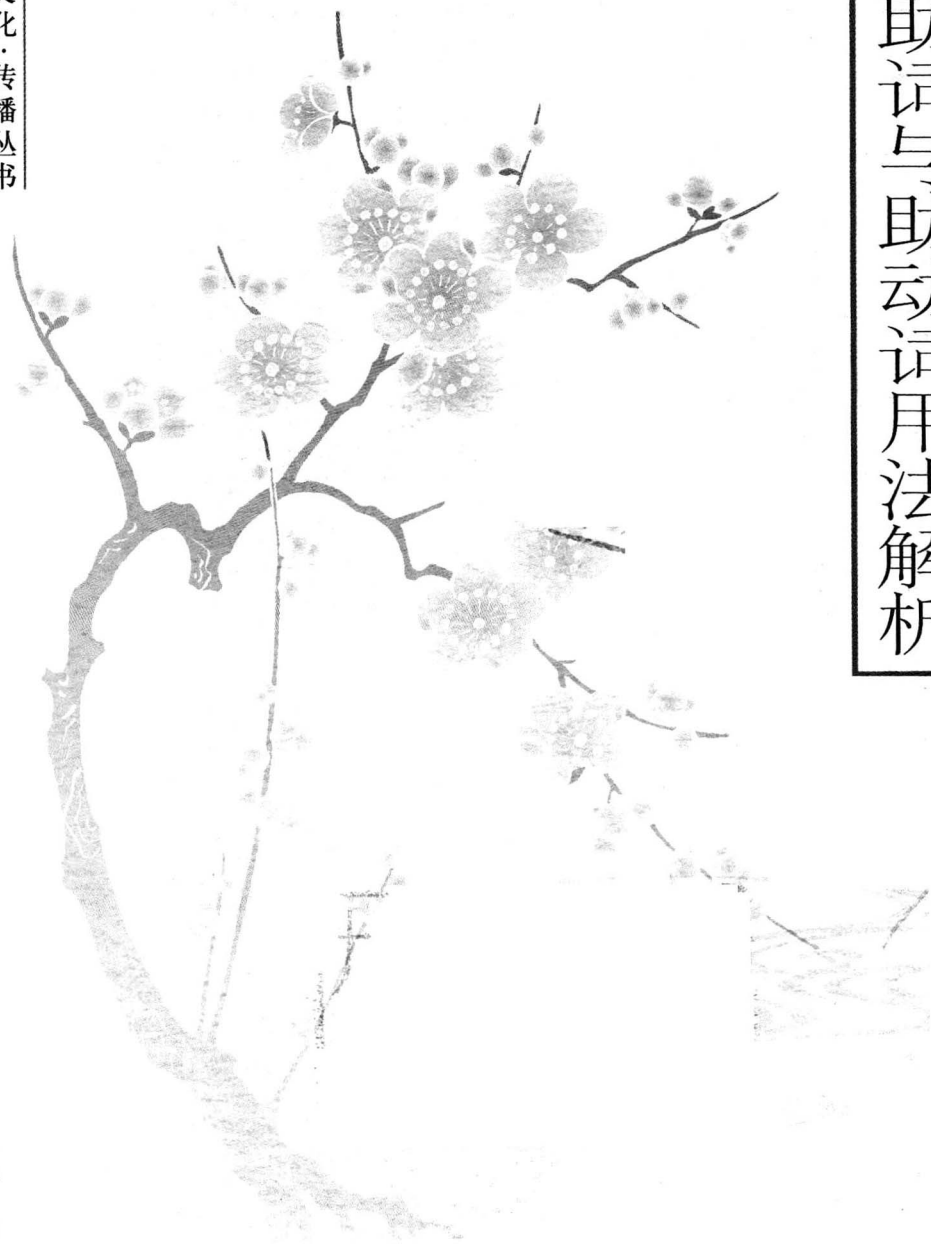
日本语言·文化·传播丛书

中国传媒大学出版社

潘寿君 主编
潘 蕾 副主编

日语助词与助动词用法解析

日本语言·文化·传播丛书



中国传媒大学出版社



图书在版编目(CIP)数据

日语助词与助动词用法解析/潘寿君,潘蕾主编. —北京:中国传媒大学出版社,2012.8

ISBN 978-7-5657-0539-7

I. ①日… II. ①潘… ②潘… III. ①日语—助词 ②日语—助动词
IV. ①H364.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2012) 第 166894 号

日语助词与助动词用法解析

主 编 潘寿君

副 主 编 潘 蕾

责任编辑 张 旭

丛书策划 冬 妮

责任印制 张 玥

封面设计 大鹏工作室

出 版 人 蔡 翔

出版发行 中国传媒大学出版社

社 址 北京市朝阳区定福庄东街1号 邮编:100024

电 话 86-10-65450528 65450532 传真:65779405

网 址 <http://www.cucp.com.cn>

经 销 全国新华书店

印 刷 北京中科印刷有限公司

开 本 730×988mm 1/16

印 张 17

版 次 2012年10月第1版 2012年10月第1次印刷

书 号 978-7-5657-0539-7/H·0539 定 价 49.00元

版权所有

翻印必究

印装错误

负责调换

前 言

对于“助词”、“助动词”的研究,国内外有大量的成果问世。在对已有成果研读的过程中,我们受益匪浅,同时也发现了一些不解之处。针对这类问题,我们分头查找资料,分析研究,反复研讨,通过大量实例,从实用的角度重新进行了归纳整理。对于容易混淆的词做了辨析,并附上译文。

近年来,国内外学者对于日本传统的学校语法提出了不少的质疑,进行批判并提出自己新的观点,有的甚至推翻了助动词和部分助词的定义。在这里,我们不是从理论上,而是从实用的角度,仍然采用“助词”、“助动词”的提法进行分析研究。这样做是出于以下两点:一是“助词”和“助动词”的提法在国内外被广泛认可并大量采用;二是一般的辞典和教科书均采用这种提法,避免引起不必要的混乱。

本书的观点充分借鉴了现有的相关研究成果,博采众家之长。其中部分例句也是借鉴和参考了前人的研究成果,特此说明并表示真挚的谢意。

本书由主编、副主编和四位研究生合作完成。除主编和副主编外,参加本书执笔的有苏搏、吴函卿、张冉、张莉(以姓氏笔画为序),最后由主编、副主编统一定稿。由于编者水平所限,不当或错误之处在所难免,敬请各位同仁和读者不吝赐教。

编者

2012年5月

目 录 >>> CONTENTS

前言 / 1

助词篇

格助词「が」、「から」、「で」、「と」、「に」、「の」、「へ」、「より」、「を」 / 1

副助词「か」、「きり」、「くらい(ぐらい)」、「ずつ」、「やら」、「ぞ」、「だけ」、「など」、「なんか」、「なり(なりと、なりとも)」、「なんて」、「のみ」、「ばかり(ばっかり)」、「ほど」、「まで」 / 38

系助词「こそ」、「さえ」、「しか」、「しも」、「すら」、「だって」、「って」、「でも」、「は」、「ほか」、「も」 / 64

接续助词「が」、「から」、「けれども(けれど、けども、けど)」、「し」、「たって(だって)」、「たら」、「つつ」、「て(で)」、「ては(では)」、「ても(でも)」、「と」、「ところが」、「ところで」、「とも」、「ながら」、「なら」、「ので」、「のに」、「ば」、「もので」、「ものなら」、「ものの」、「ものを」 / 81

并列助词「か」、「し」、「たり」、「だの」、「と」、「とか」、「なり」、「に」、「の」、「や」、「やら」 / 112

终助词「い」、「え」、「か」、「が」、「かしら」、「かな」、「け」、「けれども、けれど、けど)」、「こと」、「き」、「ぜ」、「ぞ」、「だって」、「たら」、「て(って)」、「てば」、「てよ」、「とも」、「な」、「に」、「ね(ねえ)」、「の」、「のに」、「もの(もん)」、「ものか」、「や」、「やら」、「よ」、「わ」 / 127

助动词篇

可能助动词「れる」、「られる」 / 144

被动助动词「れる」、「られる」 / 150

自发助动词「れる」、「られる」 / 163

敬语助动词「れる」、「られる」 / 165

使役助动词「せる」、「させる」 / 168

过去・完了助动词「た(だ)」 / 180

比况助动词「ようだ」 / 194

比况助动词「みたいだ」 / 195

比况助动词「ごとし」 / 196

断定助动词「だ」 / 197

断定助动词「である」 / 198

断定助动词「です」 / 198

否定助动词「ない」、「ぬ(ん)」 / 199

愿望助动词「たい」、「たがる」 / 217

样态助动词「そうだ」 / 229

传闻助动词「そうだ」 / 235

推测助动词「らしい」 / 238

文语推测助动词「べし」 / 242

推测助动词「う」、「よう」 / 244

推测助动词「まい」 / 250

索引 / 255

助 词 篇

>>>> 格助词「が」、「から」、「で」、「と」、「に」、「の」、「へ」、「より」、「を」

一、格助词的定义

接在体言或者相当于体言的词后，表示与句子中其他成分的关系(格的关系)的词叫做格助词。

「魚——食べる」这个句子中，根据「魚」后面所接格助词(「が」或者「を」)的不同，「魚」和「食べる」的关系就不一样。换句话说，由「が」或者「を」来决定「魚」和「食べる」的关系。格助词主要有：から、が、で、と、に、の、へ、より、を。

在界定格助词时，「は」、「まで」容易被认为是格助词。「は」由于在「私は中学生である」这类句子中经常使用，很容易被误认为是格助词。但是，「は」可以在「読みはしない」、「高くはない」、「ゆらゆらとは感じた」、「東京では遊んだ」等很多句中的各种词后使用，带有比较、区别的意思。一般把「は」定为系助词(「係助詞」)。

至于「まで」，例如在「大阪から東京まで」中的「から」是格助词，所以不

小心就会把「まで」也误认为是格助词。但是「まで」在「子供にまで笑われる」等各种词后都可以使用,表示程度,所以一般把「まで」定为副助词。只是在时枝语法中,把「私は」、「東京まで」中的「は」、「まで」划分为格助词。

另外,有的语法书中,把「ほくのがいい」、「これからが見所だ」之类的句子中的「の」、「から」特别定为准体助词,和格助词相区别。

我们还经常可以看到应该使用格助词的句子,却没有使用格助词。例如:「花が咲く」、「水を飲む」省略为「花咲く」、「水飲む」。这种用法仅仅限于会话等非正式场合。此外,还有不用格助词,而用副助词、系助词等来表示格的关系的句子,例如:「水ばかり飲んでいる」、「本でも読んでいたまえ」、「病人しかいない」等。

二、格助词的分类

- (1) 主格助词:「が」、「の」
- (2) 领格助词:「の」
- (3) 宾格助词:「を」
- (4) 补格助词:「から」、「で」、「と」、「に」、「へ」、「より」、「を」

三、格助词的用法

◎「が」的基本用法

1. 表示主语,包括动作的主体或存在的主体、状态及性质。

① 描写眼前情景,包括发现某一情况,有时表示意外、惊讶。

(1) 花びらが風に飛び散る。/ 花瓣随风飘落。

(2) 雨がざあざあ降っている。/ 雨在哗哗地下。

(3) おや、ベルが鳴りました。/ 哎呀,铃响了。

(4) あっ、先生が来ましたよ。/ 啊,老师来了!

② 定语中的主语。

(5) お腹が痛い、頭が痛い、体がだるい、食欲がないなどということは、

みな病気の印です。/ 肚子痛、头痛、全身无力、没有食欲等，都是生病的症状。

(6) 友達の病気がよくなることを祈っている。/ 衷心祝愿朋友早日康复。

③ 复句里表示条件句的主语。

(7) 電話がかかってきたら、教えてください。/ 如果有电话打来的话，请告诉我。

(8) 時間があれば、あなたと一緒に旅行に行きたい。/ 如果有时间的话，我想和你一起去旅行。

④ 用作主谓结构的谓语补充成分。

(9) わざわざあそこに行く必要がない。/ 没有必要特地去那里。

(10) 彼は人の話を聞かない嫌いがあある。/ 他有点不听人劝告。

⑤ 用在惯用句中，或者用于带有文言味道的书面语中。

(11) ゆっくり休むがいい。/ 你要好好休息。

(12) 言わぬが花。/ 不说为妙(少说为佳)。

(13) 思うがままにならぬ。/ 事不如意。

⑥ 用于谩骂、诋毁别人。此用法一般省略谓语，在「が」处断句。

(14) この馬鹿者めが。/ 你这个混蛋！

(15) 何だ、このきちがいが。/ 什么啊，这个疯子！

⑦ 在「が」的前后用同一个名词来表示强调。

(16) 全部が全部本当だとは思わなかった。我并没有认为这全都是真的。

(17) 事情が事情だし、こうなった以上は仕方がない。/ 毕竟是有特殊情况，事已至此，别无他法。

⑧ 表示存在句中的主语。

(18) 部屋には、ベッドや机や冷蔵庫などがある。/ 房间里有床、桌子和冰箱等。

(19) 東京大学に世界各国からの留学生がいる。/ 东京大学有来自世界各国的留学生。

⑨ 疑问代词作主语时,用「が」表示主语。回答时,主语也用「が」。

(20) どなたが山本さんですか。私が山本です。/ 哪位是山本先生? 我是山本。

(21) 誰が反対しましたか。/ 谁反对了?

2. 表示对象。

① 表示感情、希望的对象。

(22) ふるさとが懐かしい。/ 怀念故乡。

(23) 新しいパソコンがほしい。/ 想要一台新电脑。

(24) 私は勉強が嫌い。/ 我讨厌学习。

② 表示属性的对象。

(25) ぼくは数学が苦手だ。/ 我数学不行。

(26) ママは料理が上手だ。/ 妈妈很会做菜。

(27) 王さんは字がうまい。/ 小王的字写得好。

(28) 中国は人口が多い。/ 中国人口多。

③ 表示感觉的对象。

(29) 私は歯が痛い。/ 我牙疼。

(30) 手足が冷たい。/ 手脚冰凉。

④ 表示可能动词作谓语时的对象。

(31) あの人日本語が話せます。/ 那个人会说日语。

(32) 人がいっぱい、身動きができない。/ 挤满了人,动弹不了。

⑤ 表示他动词存在态时的对象。

(33) 道の両側に木が植えてあります。/ 路两旁栽着树。

(34) テーブルの上に花が飾ってあります。/ 桌子上摆着花。

⑥ 用「…がする」的形式表示感觉的对象。(感觉器官所捕捉到的现象)

(35) レストランの前を通ると、いい匂いがします。 / 从餐厅前经过, 就会闻到一股香味儿。

(36) スピードが速いので、目眩がします。 / 因为速度快, 感到头晕。

3. 「が」在古典语中作为连体格助词使用, 现在主要作为书面语使用。在一些习惯用语中还可以看到。

(37) わが母校。 / 我们母校。

(38) わがまま。 / 任性。

(39) 我が物顔。 / 旁若无人, 傲慢。

◎「から」的基本用法

1. 表示动作、作用在时间上、空间上的起点和事物的出处。

(1) 今、学校から帰ったところです。 / 我刚从学校回来。

(2) 今日は午後から雨が降るかもしれない。 / 今天下午也许会下雨。

(3) 父から教えられたこと。 / 父亲教我的东西。

2. 表示顺序、范围的起点。

(4) 月曜日から金曜日まで毎日授業がある。 / 从星期一到星期五每天都有课。

(5) まずここから始めなさい。 / 先从这儿开始吧。

3. 表示经由点。

(6) 窓から物を捨ててはいけない。 / 不能从窗户往外扔东西。

(7) 戸の隙間から光が洩れています。 / 光线从门缝中透出来。

4. 表示原因、理由、根据。

(8) ちょっとした事から喧嘩になった。 / 因为一点小事吵了起来。

(9) 彼の日ごろの言動から考えて、それはあり得る事だ。 / 从他平时的言行来看, 那是可能的。

5. 表示原料、材料或构成要素等。

(10) 日本酒は米から作る。 / 日本酒是用米酿制的。

(11) 水は水素と酸素からなる化合物である。 / 水是由氢和氧组成的化合物。

6. 接在数量词后,表示超越此数量。

(12) 百人からの人が集まった。 / 聚集了一百多人。

(13) 外国製だと、安いのも十万円からします。 / 要是外国货,便宜的也要十万日元以上。

7. 表示主体。

(14) 授業のあと、学生からどんどん質問が出ました。 / 下课后,学生提了很多问题。

(15) そのことについて、私から、先生に聞きましょう。 / 关于那件事,由我去问老师吧。

8. 表示动作的场所。

(16) 屋上から見ると、人や車が小さく見えます。 / 从房顶上向下看,人和车都显得很小时。

(17) 東京タワーから見下ろすと、歩行者が蟻のように見えます。 / 从东京塔上向下俯视,行人像蚂蚁似的。

9. 以「てから」的形式表示某动作进行之后的情形或变化。

(18) 私と彼女は大学を卒業してから、一度も会っていません。 / 大学毕业后,我和她一次都没有见过。

(19) 日本に来てから、痩せてしまいました。 / 来日本以后瘦了。

10. 以「～から～にかけて～」的形式,表示某动作、状态涉及的时间或空间范围。

(20) 九州から四国にかけて台風が襲った。 / 台风袭击了九州至四国地区。

(21) 6月下旬から7月中旬にかけて、雨が多いです。/ 从6月下旬到7月中旬雨水多。

◎「で」的基本用法

1. 表示动作、作用进行的场所或者范围。

(1) 午後4時にホテルのロビーで待ち合わせましょう。/ 下午四点在宾馆大堂会面吧。

(2) 晩御飯はどこで食べますか。/ 晚饭在哪儿吃？

(3) 地下鉄の中で財布を無くしてしまった。/ 在地铁里把钱包给弄丢了。

2. 表示动作、作用进行的时期或期限。

(4) 日本語能力試験の出願期限は明日で締め切りです。/ 日语能力考试的报名到明天截止。

(5) この車の整備は一時間ぐらいで仕上げられる。/ 这辆车的保养大概1个小时就能完成。

3. 表示数量的限定。

(6) このボールペンは2本で三百円です。/ 这种圆珠笔两支300日元。

(7) 試合は三回で決勝する。/ 比赛以三局分胜负。

(8) 試験が終わったら、クラス全員で遠足に行きます。/ 考完试，全班去郊游。

4. 表示方法、工具、手段、材料等。

(9) 日本では木で作られた家が多い。/ 日本木结构的房子很多。

(10) タクシーで行けば、飛行機に間に合うでしょう。/ 坐出租车去，大概赶得上飞机吧。

(11) そのことはインターネットで知りました。/ 那件事我是从网上知道的。

(12) 大きな声で読んでください。/ 请大声朗读。

5. 表示原因、理由。

(13) 風邪で一週間欠勤しました。/ 因感冒, 缺勤了一个礼拜。

(14) 最近期末試験の準備で忙しい。/ 最近因期末的备考很忙。

(15) 夜はアルバイトや勉強で忙しいですから、あまり遊びに行きません。/ 晚上因忙于打工、学习, 很少出去玩。

6. 表示动作、作用的状态、态度、立场等。

(16) 大喜びで出かけていった。/ 高高兴兴地出去了。

(17) 新しい気持ちで新年を迎えます。/ 以新的心情迎接新年。

(18) 学生代表の資格で発言する。/ 以学生代表的资格发言。

7. 表示判断的根据。

(19) 私の時計では今年後 3 時 20 分です。/ 我的表现在是下午 3 点 20 分。

(20) 人は外見では判断できない。/ 不能以貌取人。

(21) 噂では、近いうちに大地震が起こるという。/ 传说最近要发生大地震。

8. 表示动作的主体, 这时的动作主体不是个人, 而是某个团体或组织。

(22) 学校ではそんなことを教えていないはずだ。/ 学校里应该不会教这些。

(23) この郵便局では、外国電報を取り扱っていません。/ 这家邮局不受理国际电报。

(24) 気象庁では台風警報を出しました。/ 气象厅发出了台风警报。

9. 表示范围。

(25) 日本料理の中で何が一番美味しいと思いますか。/ 你认为日本菜中什么最好吃?

(26) ご承知の通り、中国のお茶は世界でも一番有名です。/ 众所周知, 中国茶叶在世界上也是最有名。

◎「と」的基本用法

1. 表示动作作用的对象、共同行为者。

(1) 小さい時、よく弟と喧嘩したものです。 / 小时候我经常和弟弟吵架。

(2) 妹は友達のお兄さんと結婚した。 / 妹妹和朋友的哥哥结婚了。

2. 表示比较的对象、基准。

(3) 五年前と同じで少しの進歩もない。 / 和五年前一样，一点进步都没有。

(4) 兄と比べると、弟のほうが背が低いです。 / 和哥哥相比，还是弟弟个子矮。

3. 表示行为、变化的结果。

(5) 春となりました。 / 到春天了。

(6) 裁判の結果、無罪と決まった。 / 审判的结果，定为无罪。

4. 表示观察、思考、意向、决定、命名、言表等内容。

(7) 彼も賛成すると言った。 / 他也说赞成。

(8) 私は山本と申します。 / 我叫山本。

(9) 来年アメリカに留学しようと思っている。 / 我明年想去美国留学。

(10) あなたの言ったことは正しいと思います。 / 我认为你说的对。

(11) 夏休み、沖縄に行こうと決めた。 / 我决定暑假去冲绳。

(12) 田中さんはさようならと言って、出かけました。 / 田中说了声再见就出去了。

5. 表示引用。

(13) 黒板に「こんにちは」と書いてある。 / 黑板上写着“你好”。

(14) 小林さんは「私は高田さんの意見に賛成します」と言いました。 / 小林说：“我赞成高田先生的意见。”

6. 接在数词后面表示实际数量。

(15) 二度、三度と回を重ねるうちに、すっかりなれました。/ 重复了两三次之后, 就完全习惯了。

(16) 私の部屋は8平方メートルと狭い。/ 我的房间只有8平方米, 很小。

(17) 百円とかからない。/ 用不了一百日元。

7. 接在部分副词、副词性句节之后, 加强语气。

(18) これからとしっかりと勉強しようと思います。/ 从现在起我要好好学习。

(19) 焦らずに、ゆっくりとやりましょう。/ 不着急, 慢慢做吧。

8. 表示比喻。

(20) 花が雪と散る。/ 花落如雪飘。

(21) 柱と頼む父が病気になった。/ 作为顶梁柱的父亲生病了。

9. 表示提示。

(22) 半導体とは電流の流れやすさが導体と絶縁体の中間にあるものです。/ 所谓半导体, 是指导电性能介于导体与绝缘体之间的物质。

(23) 力のモーメントとは支点の周りに物体を回転させる能力のことである。/ 所谓力矩, 就是使物体围绕支点转动的能力。

◎「に」的基本用法

1. 表示人和物存在的场所。

(1) 机の上に本が置いてある。/ 桌子上放着书。

(2) 彼は今教室にいる。/ 他现在在教室里。

(3) 大学においては、今、機構改革の問題を真剣に考えているところだ。/ 在大学里, 现在正在认真考虑机构改革的问题。

「において」等词组也有助词性质的用法。其中的「に」, 原本意思是表示场所的。

2. 表示动作、作用的地点、归属点。

(4) 壁に地図を貼ってください。/ 请把地图贴在墙上。

(5) ノートに名前を書く。/ 把名字写在笔记本上。

3. 表示变化的结果。

(6) 夏が過ぎて涼しい秋になった。/ 夏天过去,到了凉爽的秋天。

(7) 豆を粉にひく。/ 把豆子磨成粉。

4. 表示动作、行为进行的时间、场合、情况。

(8) 9時に出発すれば、午後6時に着く。/ 如果9点出发,下午6点就能到达。

(9) 討議を行う場合にはみんなが存分に意見を述べなければなら
ない。/ 讨论时,大家应该畅所欲言。

(10) 雨の降らないうちに早く行こう。/ 趁着没下雨,(我们)早一点
去吧。

5. 表示动作、作用的对象。

(11) 彼に助けを求めよう。/ 请他帮忙吧。

(12) 神様に誓います。/ 向神发誓。

6. 表示动作、作用的目的。

(13) この箱は小物を入れておくのに便利だ。/ 这个盒子便于放小
物件。

(14) 食べ物を買いに行く。/ 去买吃的东西。

7. 表示动作、作用、状态的依据、原因、由来等。

(15) ガスに中毒した。/ 煤气中毒了。

(16) あまりの悲しさに声も出ない。/ 悲痛得说不出话来。

8. 表示动作、作用进行的方式或状态。

(17) 船が上下に揺れ動く。/ 船上下摇动。

(18) 横に一列に並んでください。/ 请横向排成一排。